

～PCなどオープンアーキテクチャデジタル放送受信機に対応する権利保護システムの研究開発～

委託先：富士通(株)

研究代表者：富士通プラットフォームテクノロジー研究所 特任研究員 小檜山 清之

研究期間：平成14年1月～平成16年3月

主な研究実施場所：神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

研究成果：PCでのデジタル放送受信は、クラッカーによるコンテンツの違法コピー、違法配信の恐れから中々実現しなかった。本研究では、クラッキングの対象となるPC上のコンテンツ処理ソフトを守るLSIを開発し問題を解決した。開発したLSIはリアルタイムの監視が可能であり、ソフトの書き換えによるコンテンツの複製を防ぐことができる。また、コンテンツ処理ソフトの処理内容の解析によるコンテンツの複製を防ぐため、外から見た動作は同じでも、不定期にプロ

グラムの配置換えなどを行い、どこでどのように処理を行っているのかわからないようにすることを可能にした。このLSIの開発によってクラッキングの問題が解決され、平成17年に業界初の本格的なデジタル放送受信PCの製品化に成功した。

研究成果説明図：

